

ネットワークカメラ

品番 WV-SFV781L



- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

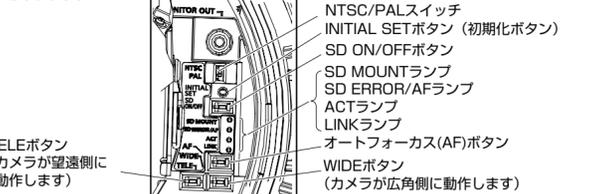
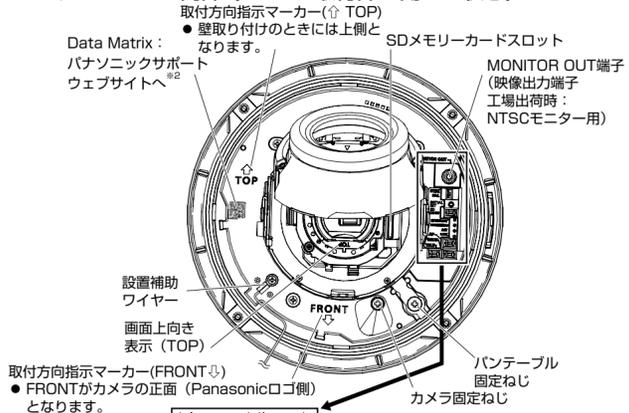
© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX1815VA Cs0415-4109 Printed in China

各部の名前

本機の各部の名前は以下のようになっています。設置、調整時に参照してください。

<ドームカバー内部 (IR LED取付部を開けた状態)>



- ※1 SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。
- ※2 Data Matrixは、パナソニックサポートサイトのWebアドレスを2次元バーコードにしたものです。読取アプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときは下記URLを直接入力してください。
http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html

メモ

- ACTランプ、LINKランプ、SD ERROR/AFランプ、SD MOUNTランプはカメラ設置状態で点灯/点滅が見えます。このLEDの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯にすることができます (初期状態は点灯および点滅)。設置環境など必要に応じて消灯してください。(※取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内))

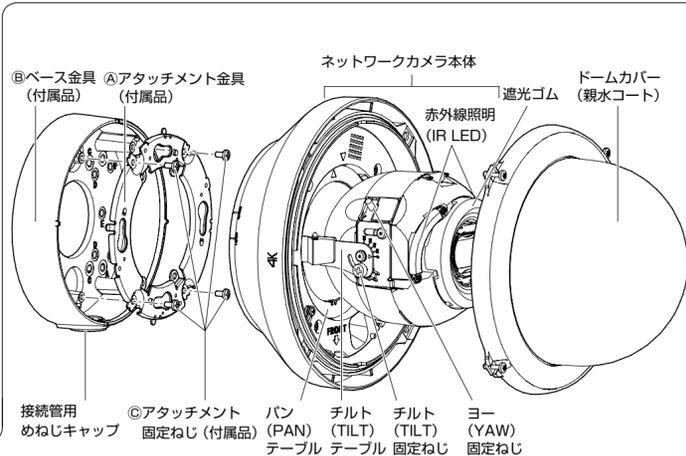
付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編	1冊	CD-ROM *1	1枚
取扱説明書 設置編 (本書)	1式	コードラベル *2	1枚
保証書	1式	カメラ取扱注意ラベル	1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- | | |
|--|--------------------------------|
| Ⓐ アタッチメント金具.....1個 | Ⓔ ビット (六角対辺6.35 mm T20)1個 |
| Ⓑ ベース金具.....1個 | Ⓕ 防水テープ.....1個 |
| Ⓒ アタッチメント固定ねじ.....5本 (M4×8 mm : 1本は予備) | Ⓖ 4Pアラームケーブル.....1本 |
| Ⓓ 型紙A (アタッチメント金具用)1枚 | ① 2P電源ケーブル.....1本 |
| Ⓔ 型紙B (ベース金具用).....1枚 | ② LANコネクタカバー.....1個 |
| | ③ MONITOR OUT変換プラグ*3.....1個 |
| | ④ ドームプロテクター.....1個 |
| | Ⓜ 延長落下防止ワイヤー.....1本 |



NTSC/PALスイッチ

- MONITOR OUT端子の出力を、NTSCモニター用/PALモニター用に切り替えることができます。

INITIAL SETボタン (初期化ボタン)

- 初期化するには本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。
- ①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合はEthernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルのコネクタ接続を外してください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。INITIAL SETボタンを離してから約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵 (SSL暗号化キー) は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

SD ON/OFFボタン

- ①SD ON/OFFボタンを押す (1秒以下) と、SD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカード*1へのデータ保存が可能になります。
- ②SD ON/OFFボタンを長押し (約2秒) すると、SD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

SD MOUNTランプ

- SDメモリーカードを挿入して認識できた場合 消灯→緑点滅→消灯
- SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し (1秒以下)、保存可能な状態になったとき 消灯→緑点灯
- SDメモリーカードに保存できる状態のとき 緑点灯
- SD ON/OFFボタンを長押し (約2秒) してSDメモリーカードを取り出す場合 緑点灯→緑点滅→消灯 (録画中)
- SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき 緑点灯→消灯 (録画待機中)

SD ERROR/AFランプ

- AF (オートフォーカス) 実行中 赤点滅 (1回/秒)
- セットが起動中 赤点灯
- 正常にSDメモリーカードが認識された場合 赤点灯→消灯
- 起動後SDメモリーカードが認識されず未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出された場合 赤点灯→赤点灯のまま

ACTランプ

- ネットワークカメラがデータ送受信時 緑点滅 (アクセス中)

LINKランプ

- 接続機器と通信可能になったとき 橙点灯

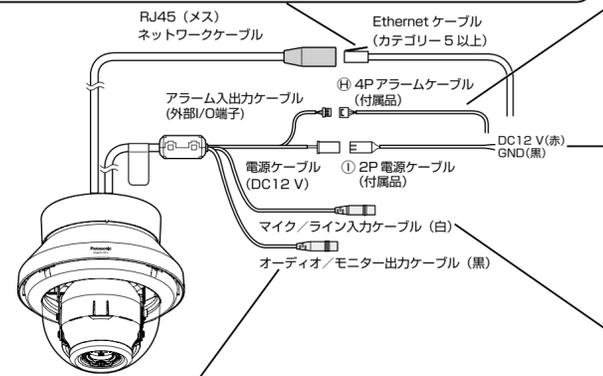
接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム (機器) の電源は切ってください。

Ethernetケーブル (カテゴリ5以上、ストレート) を接続する

重要

- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
- <推奨> パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ (2015年3月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。*
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され本機が再起動する場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。
- ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機へEthernetケーブル接続するすぐ近くに避雷器を挿入してください。



オーディオ/モニター出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。*
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 10 m未満
- 出力レベル : -20 dBV (モニター出力へ切り換え可能)
- ※アンプ内蔵の外部スピーカーを使用してください。

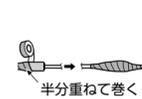
重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をOnにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きな雑音が出る場合があります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

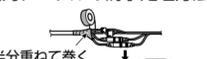
ケーブル接合部の防水処理について

露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。

<ネットワークケーブルの防水処理方法>

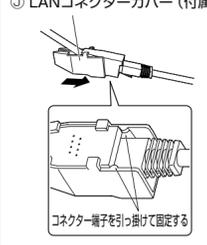
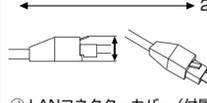
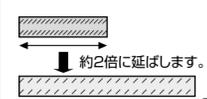


<アラーム入出力ケーブル、電源ケーブル、マイク/ライン入力ケーブル、オーディオ/モニター出力ケーブルの防水処理方法>



重要

- ①2P電源ケーブル (付属品) とおよび④4Pアラームケーブル (付属品) と外部との接続も同様に防水処理をしてください。
- テープを約2倍の長さにつき延ばし (右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- ネットワークケーブルのフックが外れないように、挿絵に示すように④LANコネクタカバー (付属品) をケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクタには、以下の制限があります。挿入時の高さ (コネクタの底~返し部) : 最大16 mm、コネクタの幅 : 最大14 mm
- 屋外に設置するときは接続管などでケーブルの防水処理をしてください。カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水 (JIS IP66相当) です。⑥ベース金具 (付属品) 内部は防水対応ではありません。



アラーム入出力ケーブルを接続する

④ 4Pアラームケーブル (付属品)



定格

- ALARM IN1 (DAY/NIGHT IN)、ALARM IN2、ALARM IN3 入力仕様 : 無電圧メイク接点入力 (DC4 V~5 Vプルアップ内蔵) OFF : オープンまたはDC4 V~5 V ON : GNDとのメイク接点 (必要ドライブ電流1 mA以上)
- ALARM OUT、AUX OUT (DAY/NIGHT OUT) 出力仕様 : オープンコレクタ出力 (外部からの最大印加電圧DC20 V) OPEN : 内部プルアップによるDC4 V~5 V CLOSE : 出力電圧DC1 V以下 (最大ドライブ電流50 mA)
- ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。

重要

- ④4Pアラームケーブル (付属品) は必ず付属品を使用してください。
- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

メモ

- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3 (アラーム2、3) の設定 (Off/アラーム入力/アラーム出力、AUX出力または白黒切換出力 (外部出力)) については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

電源ケーブルを接続する

DC12 V電源を使用する場合、①2P電源ケーブル (付属品) にACアダプター (WV-PS16 (別売り)、あるいは 市販品) の出力ケーブルを接続します。

電源ケーブル

DC12 V	赤	プラス
	黒	マイナス

重要

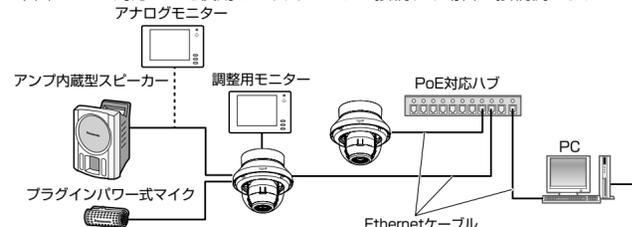
- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- ①2P電源ケーブル (付属品) は、必ず付属品を使用してください。
- ①2P電源ケーブル (付属品) は、電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格 (本体底面銘板に表記) を満たすACアダプターを使用してください。

マイク/ライン入力ケーブルとマイクを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス : 約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 1 m未満 (マイク入力の場合)、10 m未満 (ライン入力の場合)
- 推奨マイク : プラグインパワー方式 (別売り)
 - ・供給電圧 : 2.5 V±0.5 V
 - ・推奨マイク入力感度 : -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
- ライン入力時入力レベル : 約-10 dBV

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



<必要なケーブル> Ethernetケーブル (カテゴリ5、ストレート) PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ5、クロス) をご使用ください。

重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字 (カメラIDなど) が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

設置工事を始める前に

本機を天井や壁面に取り付けるには次の3通りがあり、それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付方法	推奨ねじ	最低引抜強度
[1] ⑥ベース金具 (付属品) を使って天井または壁面に取り付ける (接続管を使って配線をする場合、裏面に配線接続のスペースが無い場合)*1	M4×4本	539 N (55 kgf) / 1本あたり
[2] 2コ用スイッチボックスに④アタッチメント金具 (付属品) を使って取り付ける	M4×4本	539 N (55 kgf) / 1本あたり
[3] アタッチメント金具を使って天井または壁面に直接取り付け (天井裏、壁裏面に配線できる場合)	M4×4本	539 N (55 kgf) / 1本あたり

※1 ベース金具にアタッチメント金具を固定するときには、本機に付属されているM4×8 mmのねじ4本を使用します。

設置する

設置工事を3ステップで説明します。

Step1 金具を固定する

Step2 カメラを金具に取り付ける

Step3 調整する

Step1 金具を固定する [1]

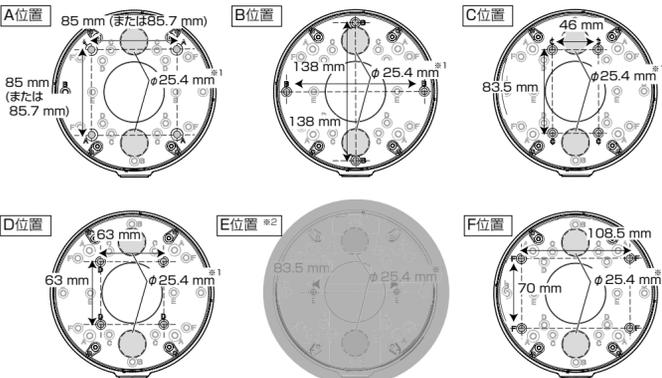
重要

- Aアタッチメント金具(付属品)またはBベース金具(付属品)を壁、天井に取り付ける取付ねじ4本(M4、JIS規格品)を別途ご用意ください。
- コンクリート天井の場合は、パナソニック株式会社製のAYプラグボルト(M4)で固定してください。(推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm})
- ねじの種類は天井または壁面の材質に合わせてご選択ください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。
- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、工事をしてください。

[1] ベース金具を使って天井または壁面に取り付ける

<ベース金具の取付方法>

Bベース金具(付属品)は、天井や壁面の状態によって次の5通りのねじ位置で固定できます。取付に使用する穴は、A~Fの位置で統一して使用してください。

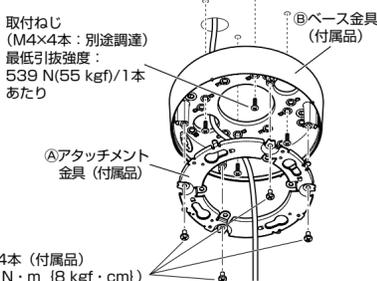


※1 配線用の穴径はいずれの場合もφ25.4 mmです。工事の際にはB型紙B(ベース金具用、付属品)のベース金具固定用穴2か所のどちらかを選んで工事してください。

※2 WV-SFV781Lの設置には、E位置を使用しないでください。
 ※3 安全のために落下防止ワイヤーを天井または壁面に取り付ける必要があります。詳細手順は「落下防止ワイヤーの設置について」チラシをご参照ください。

<天井または壁面に穴をあけて裏側より配線する場合>

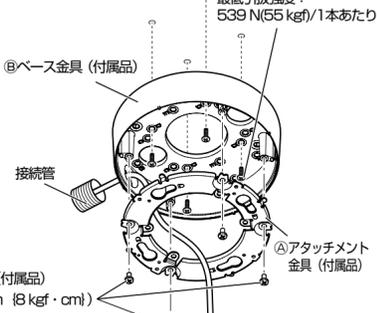
- ベース金具を取付ねじ(M4×4本:別途調達)で天井もしくは壁面に取付けてください。配線は右の設置例を参考にしてベース金具を通してください。
- Aアタッチメント金具(付属品)をAアタッチメント固定ねじ4本(付属品)を使ってベース金具に固定してください。(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})



◎アタッチメント固定ねじ4本(付属品)
(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})

<天井または壁面の接続管を使って配線する場合>

- ①接続管用めねじキャップを5 mm穴角レンチで取り外す。六角はJIS B4648、二面幅S=5に対応しています。接続管用めねじは、JIS C 8305(電線管ねじ)のCTG22、またはJIS B 0202(管用平行ねじ)のG3/4に対応しています。※天井もしくは壁面より穴をあけて配線する場合は接続管用めねじキャップを外さないでください。
- ②ベース金具とアタッチメント金具を天井または壁面に取り付ける。●ベース金具を取付ねじ(M4×4本:別途調達)で天井もしくは壁面に取り付けてください。配線は右の設置例を参考にしてベース金具を通してください。

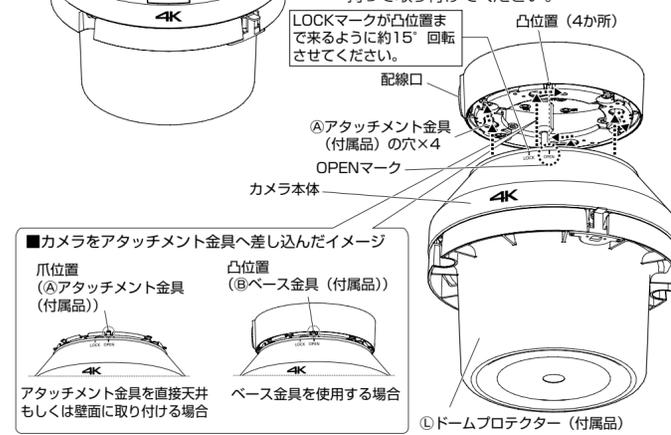


◎アタッチメント固定ねじ4本(付属品)
(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})

アタッチメント金具を使って取り付ける場合は、このページ最後の「A金具を固定する [2] [3]」を参照ください。

Step2 カメラを金具に取り付ける

- ①カメラ底面のアタッチメント取付ねじ(4か所)の位置を確認する。
- ②「接続のしかた」に従ってカメラにケーブル類を接続し、「ケーブル接合部の防水処理について」を参照して防水処理をする。
- ③カメラ底面のアタッチメント取付ねじ(4か所)とAアタッチメント金具(付属品)の穴を合わせて、カメラを取り付ける。カメラの取付方向は90°単位で変更することができます。※カメラを金具に取り付けるときは、必ずカメラ本体とドームプロテクター部分を一緒に持って取り付けてください。

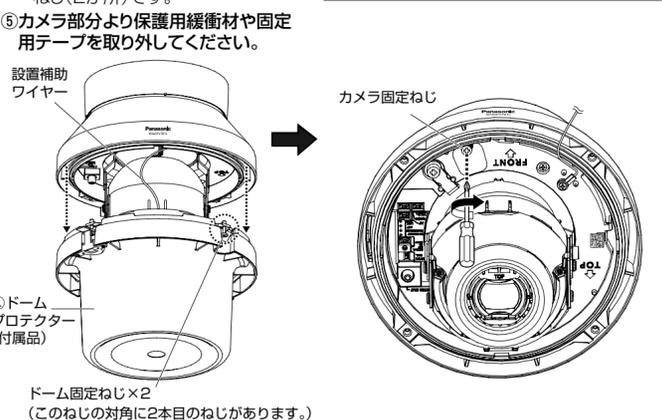


メモ

- 本機へケーブル類を接続したあとに、カメラ本体側面のOPENマークをBベース金具(付属品)の凸位置に合わせて、アタッチメント取付ねじ(4か所)をアタッチメント金具へ差し込み、約15°下から見て時計回りに回転させ、LOCKマークがベース金具の凸位置に移動して仮固定となります。(アタッチメント金具を直接天井もしくは壁面に取り付ける場合はOPENマークをアタッチメント金具の爪に合わせます。)

- ④ドーム固定ねじ2本を緩めてドームカバーにDドームプロテクター(付属品)を付けた状態で、カメラから取り外す。※工場出荷時はドーム固定ねじ2本を使ってドームカバーをカメラに仮固定しています。仮固定されているドーム固定ねじは、ドームプロテクター補助部品の付いていない部分のねじ(2か所)です。
- ⑤カメラ部分より保護用緩衝材や固定用テープを取り外してください。
- ⑥カメラ固定ねじでカメラを固定する。(推奨締付トルク:0.78 N・m{8 kgf・cm})

重要
●カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故またはカメラ内部に水が入り、けがや故障の原因となります。



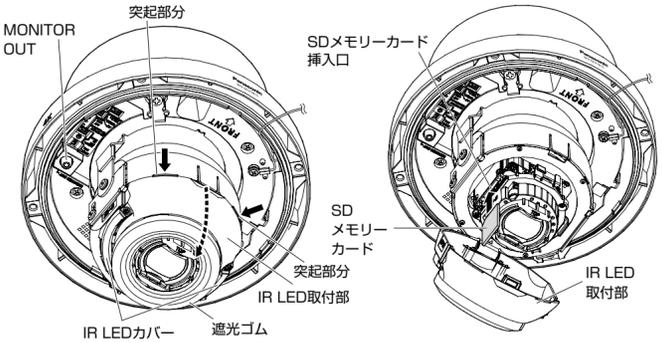
※以降の挿絵ではカメラの接続ケーブル類、ドームプロテクター、ドームカバーおよびIR LEDケーブルを省略して表現している場合もあります。

重要

- DC12 V電源、PoE電源は、カメラ取り付け作業中に電源が入らないようにシステムの電源を切断しておいてください。
- Dドームプロテクター(付属品)で保護されたドームカバー部分はカメラ本体に設置補助ワイヤーで接続されているので外さないでください。
- 壁に取り付けるときは、除湿素子に水がたまるように、除湿素子を上向きにしないでください。水が除湿素子の表面にたまることで除湿素子が機能しません。

Step3 調整する

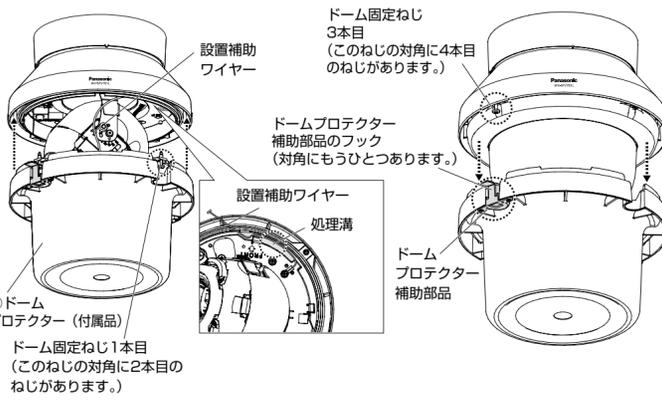
- ①カメラ頭部2か所の突起部分(下図の矢印部分)のどちらかを指で引っ掛けて、カメラのIR LED取付部を開ける。●IR LED取付部を開けるときに、遮光ゴム、IR LEDカバー、カメラのレンズ部分に触れないようにご注意ください。指紋などで画質が劣化することがあります。●IR LED取付部は最大に開くと仮固定できます。
- ②MONITOR OUT端子に、調整用モニターをRCAピンケーブル(別途調達)で接続する。●本機の工場出荷時には調整用NTSCモニターが接続できるように設定されています。
- ③カメラの電源を入れる。LINKランプが点灯し、ACTランプが緑点滅になることを確認する。(ランプ動作の詳細は「各部の名前」の説明を参照してください。)
- ④SDメモリーカードを使用する場合は、以下に示す手順に従ってSDメモリーカードを取り付ける。●SDメモリーカードのラベル面をカメラのレンズ側にし、SDメモリーカード挿入口へ向けます。●SDメモリーカードをソケットに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



メモ

- SDメモリーカードを取り外すときは、SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認後、SDメモリーカードを取り出します。
- SDメモリーカード交換が完了したら、SD ON/OFFボタンを押し(1秒以下)、SD MOUNTランプが点灯することを確認します。
- SDメモリーカードの交換完了後、SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に、自動的にSD MOUNTランプが点灯します。

- ⑧Dドームプロテクター(付属品)で保護されたドームカバーを再度カメラに取り付け、ドーム固定ねじ(下図のねじ2本)で固定する。(推奨締付トルク:1.37 N・m {14 kgf・cm})
- ⑨ドームプロテクター補助部品のフック(2か所)を同時に外側に引き、ドームプロテクターを取り外す。
- ⑩ドーム固定ねじ(下図の2本)で固定する。(ドームカバーは4か所のねじで固定します)(推奨締付トルク:1.37 N・m {14 kgf・cm})



重要

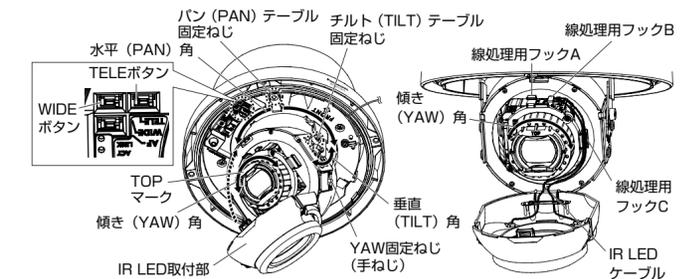
- 設置補助ワイヤーがドームカバーの取付時にかみこまないように線処理してください。防水機能を損なうことがあります。
- ドーム固定ねじ4本は確実に締めてください。落下の原因になります。推奨指定トルク:1.37 N・m {14 kgf・cm}
- Dドームプロテクター(付属品)を取り外したあとは、ドームカバー表面に触れないようにご注意ください。
- ドームカバーを取り付けると、ピントが少しずれる場合があります。ドームカバーの取り付け後、設定メニューからオートフォーカス機能を動作させてください。

メモ

- カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。
- 設置完了後Dドームプロテクター(付属品)はサービス時のために保管してください。サービス時はドームプロテクターの緩衝材(2個)を外してお使いください。

- ⑤パン(PAN)テーブル固定ねじ、チルト(TILT)テーブル固定ねじ、ヨー(YAW)固定ねじを緩め、カメラアングルを調整し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角(視野角)に設定する。水平(PAN)角:±180° 垂直(TILT)角:0~85° 傾き(YAW)角:-45°(左)~+300°(右)
- ⑥画角の調整完了後、各固定ねじを締める。●パン(PAN)テーブル固定ねじ(推奨締付トルク 0.59 N・m {6 kgf・cm}) ●チルト(TILT)テーブル固定ねじ(推奨締付トルク 0.59 N・m {6 kgf・cm}) ●YAW固定ねじは手でしっかりと締めてください。

- 調整後は線処理用フックAまたはCを使ってIR LEDケーブルを線処理してください。線処理用フックBは外さないでください。
- ⑦調整用モニターをMONITOR OUT端子から外し、最後にIR LED取付部を閉じる。

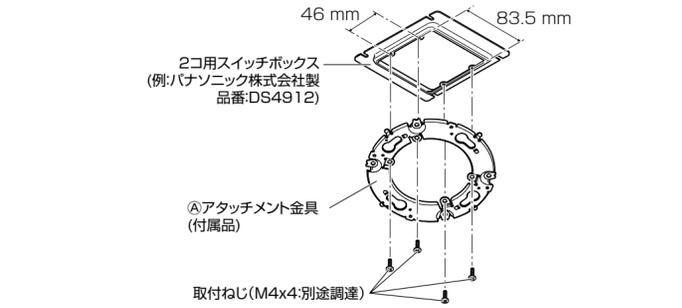


メモ

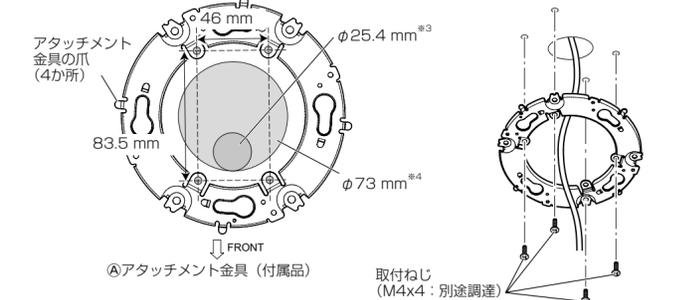
- WIDEボタン、TELEボタンを使って画面の大きさを調整するときは、カメラのフォーカスは自動フォーカス粗調整機能で都度調整されます。
- 可変角度およびズーム倍率によってはカメラ本体の影が映りますのでご注意ください。
- 設置するときは必ずレンズのTOPマークが上向きになるように水平(PAN)、垂直(TILT)、傾き(YAW)の各角度を調整してください。
- 壁に設置の場合、初期状態では画面の上下が180°回転しています。水平(PAN)角を180°回転させるか、設定メニューの「上下反転」を「On」に設定すると画が上下反転されます。設定メニューの「上下反転」の設定方法については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。
- IR LED取付部を閉じるとき、IR LEDケーブルがかみ込まないように注意してください。
- パン(PAN)テーブル固定ねじ、チルト(TILT)テーブル固定ねじ、ヨー(YAW)固定ねじは、緩めすぎると抜け落ちる可能性があります。
- 垂直回転角度をカメラレンズが水平に近い位置でご使用の場合は、画像の一部が二重に見えることがあります。垂直回転角度を小さくしたりズーム倍率を調整してください。

A 金具を固定する [2] [3]

[2] 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける



[3] アタッチメント金具を直接天井や壁に取り付ける



- ※3 設置時にカメラの取付方向が決まっている場合は型紙AのFRONT方向(カメラ取り付け時には本体の取付方向指示マークFRONTの方向)を取り付けたい向きに合わせ、φ25.4 mmの穴をあけます。型紙AのFRONT方向にカメラ本体のPanasonicロゴの向きを合わせて設置できます。
- ※4 設置時にカメラの取付方向が決まっていない、設置後にカメラの向きを変更する場合カメラの向きを変更する場合は、中心にφ73 mmの穴をあけます。90°単位でカメラ取り付けの方向を変更できます。以降、カメラの取り付け、調整に関してはStep2以降に続きます。

カメラの設置完了後、付属の「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。